



栃木県立がんセンターと済生会宇都宮病院は共同し、「緩和ケアに関する講演会や症例検討会、緩和ケア地域医療体制構築の検討会等」を毎月交代で開催しておりますが、6月のテーマは「病病連携」です。

宇都宮医療圏「緩和ケア地域連携」カンファレンス 「緩和ケアにおける病病連携」

テーマ

緩和ケアにおける病病連携

内容

紹介：済生会宇都宮病院における緩和ケアの状況
意見交換：緩和ケアにおける病病連携

宇都宮には、2つの「緩和ケア病棟」(栃木県立がんセンター、済生会宇都宮病院)がありますが、緩和ケア病棟の機能も大きく変化して参りました。

例えば、従来の緩和ケア病棟は、

①ホスピスケア：終末期を安らかに過ごすことを希望しての入院のみでしたが、

現在は、

②症状緩和のための短期入院：(例)疼痛の集中治療とケアなど辛い症状を和らげることを目的とした入院(2~4週間)

③レスパイト入院：在宅介護でお疲れになったご家族の休養を目的とした患者さんの短期入院(1~2週間)

④退院支援：症状が緩和されてADLが向上すれば、外泊・退院・転院、自宅や介護施設で過ごすことも可能となります。病状により再入院も可能です。

等々、緩和ケア病棟「入院の適応」も一段と広がって参りました。

また、国は「がん早期からの緩和ケア」を推進しており、緩和ケアの考え方も大きく変化しております。このような状況下において、宇都宮市内32の病院はどのように協力し合っているのか、意見交換ができれば幸いに存じます。


日時：平成29年6月12日(月)

19:00~20:30

場所：済生会宇都宮病院

2Fグリーンホール

参加をご希望の方は、別添の「参加申込書」にご記入の上、6月5日(月)までにFAXで済生会宇都宮病院地域連携課(028-626-5795)へお申し込みください。

 済生会宇都宮病院 地域連携課
TEL 028-626-5500(代)
FAX 028-626-5795(直)

